

基盤地図情報ビューア（改訂版）操作説明書

【ソフトウェアについて】

○動作環境

- ・このソフトウェアは、*Microsoft(R)Windows(R)*上で動作します。
Windows(R)Vista(x86)、*Windows7(x86およびx64)*、*Windows8(8.1)(x86およびx64)*において動作確認を行っております。

○商標

Microsoft、*Windows*は米国*MicrosoftCorporation*の米国及びその他の国における登録商標または商標です。

Windows (R) Vista の正式名称は、*Microsoft(R) Windows(R) Vista Operating System* です。

Windows 7 の正式名称は、*Microsoft(R) Windows(R) 7 Operating System* です。

Windows 8 の正式名称は、*Microsoft(R) Windows(R) 8 Operating System* です。

Adobe、*AdobeAcrobat*は、*AdobeSystemsIncorporated*（アドビシステムズ社）の商標です。

※ここに記載されている事項は予告なしに変更される場合があります。

2014. 11

※各メニュー機能の詳細説明は、オンラインヘルプに記載されています。

基盤地図情報ビューア

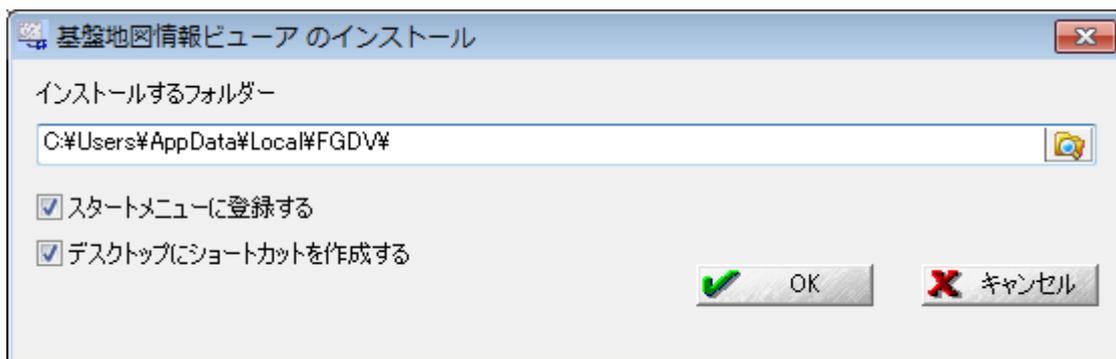
インストール.....	2
アンインストール.....	3
デスクトップにアイコンをつくる.....	4
プロジェクトを新規に作成する.....	5
背景図(数値地形図)の登録.....	7
表示設定の変更.....	9
ステータスバー.....	12
レイヤーリスト.....	13
表示メニューの実行.....	14
要素の属性を見る.....	15
距離と面積.....	15
エクスポート.....	16
標高メッシュをシェープファイルへ出力.....	17
プロジェクトの保存.....	18
このプログラムの情報.....	18

インストール

ダウンロードファイルを解凍後、インストールを行います。解凍したファイル一式をCDにコピーした場合は、そのCDから自動起動でのインストールが可能です。

操作方法

1.ダウンロードファイルを解凍したフォルダ内の「Install.exe」をダブルクリックしてインストーラーを起動します。



2. 「インストールするフォルダ」を指定します。

*インストールおよび、実行時に書き込みの権限があるフォルダを指定して下さい

3. 「スタートメニューに登録する」 チェックボックスをONにした場合、Windowsのスタートメニューに登録されます。

4. 「デスクトップにこのプログラムのショートカットを作成する」チェックボックスをONにした場合、デスクトップにこのプログラムのアイコンが追加されます。



5. 【OK】 ボタンを押すと、インストールが実行されます。

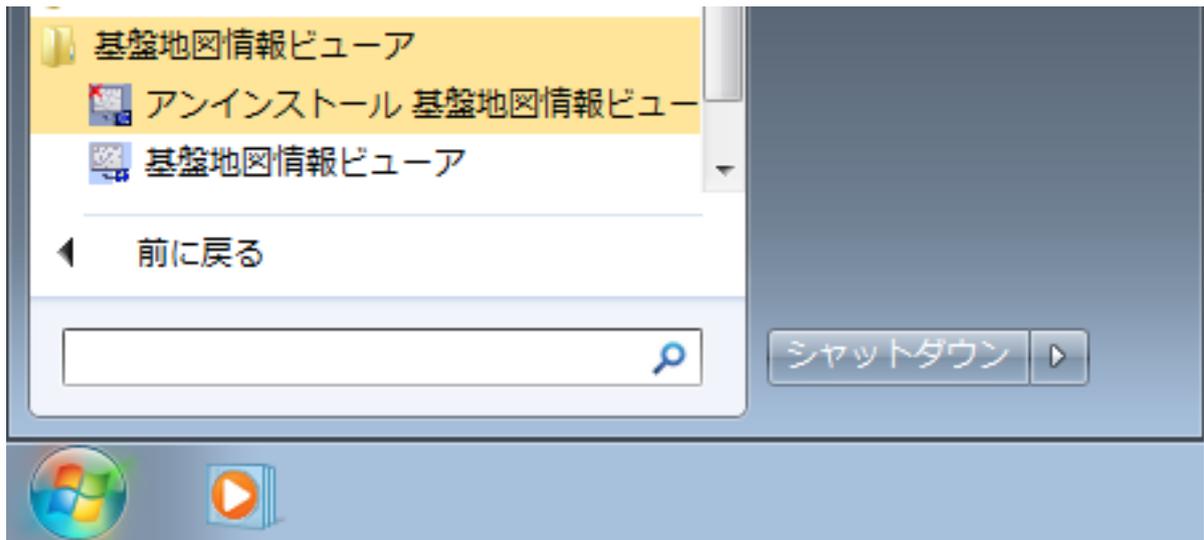
【キャンセル】 ボタンを押すと、インストールは行われずにダイアログボックスを閉じます。

アンインストール

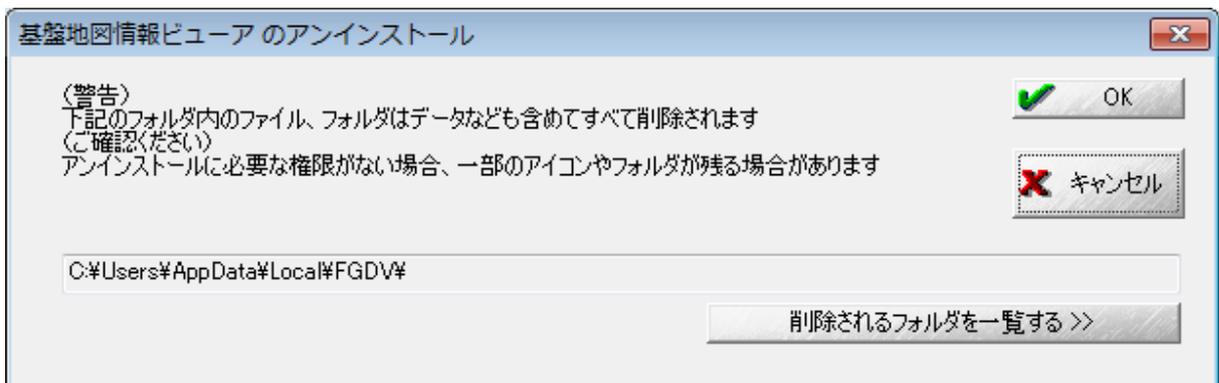
プログラムのアンインストールは以下の手順で行います。

操作方法

1. スタートメニューに「アンインストール 基盤地図情報ビューア」が登録されている場合は、このメニューをクリックします。



「基盤地図情報ビューアのアンインストール」ダイアログボックスが表示されます。



【OK】 ボタンを押すと、アンインストールが実行されます。

2. スタートメニューに「アンインストール 基盤地図情報ビューア」が登録されていない場合は、Windowsのコントロールパネルから「プログラムと機能」を実行します。

一覧から「基盤地図情報ビューア」を指定します。

「基盤地図情報ビューアのアンインストール」ダイアログボックスが表示されます。

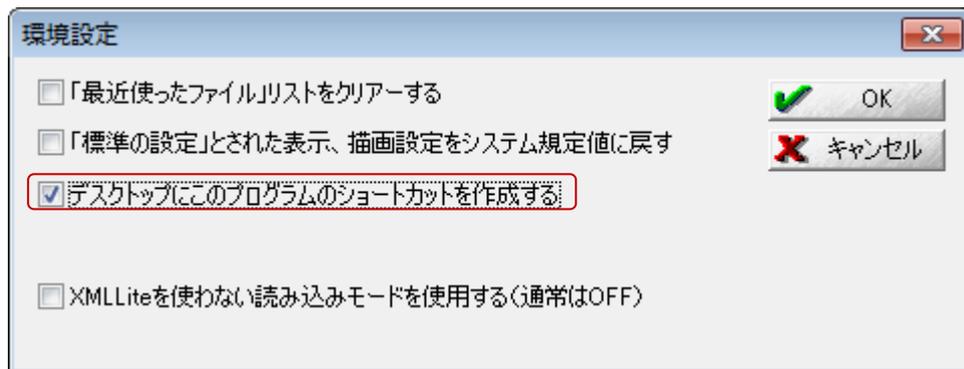
【OK】 ボタンを押すと、アンインストールが実行されます。

デスクトップにアイコンをつくる

インストーラーを使用しないで、このプログラムのアイコンを作成します。

操作方法

1. ダウンロードファイルを解凍したフォルダ内の「FGDV.exe」をダブルクリックしてプログラムを起動します。
2. [ファイル]-[システム環境設定]を選択すると、[環境設定]ダイアログボックスが表示されます。
3. 「デスクトップにこのプログラムのショートカットを作成する」チェックボックスをONにして、【OK】ボタンを押してください。



4. デスクトップにこのプログラムのアイコンが追加されていることが確認できます。



プロジェクトを新規に作成する

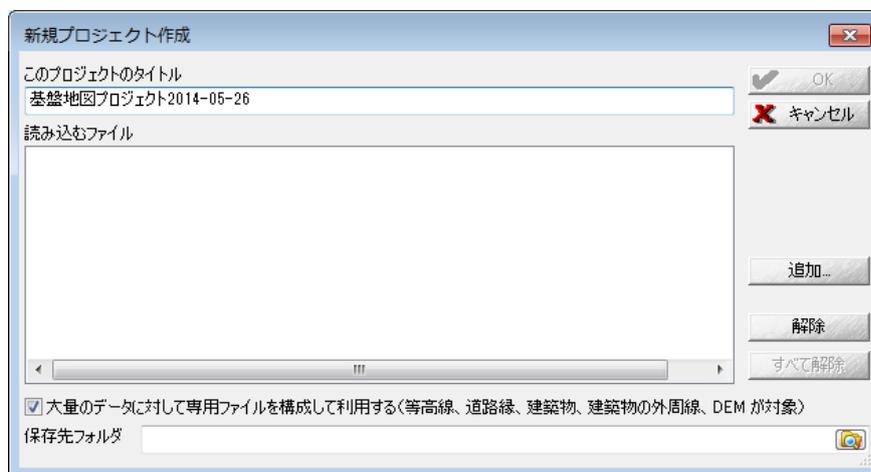
プロジェクトとは、複数の基盤地図情報ファイルを読み込んで、1つの地図として表示できるようにデータがレイヤー分け構成されたものを示します。

基盤地図情報データを読み込んでプロジェクトを構成します。

操作方法

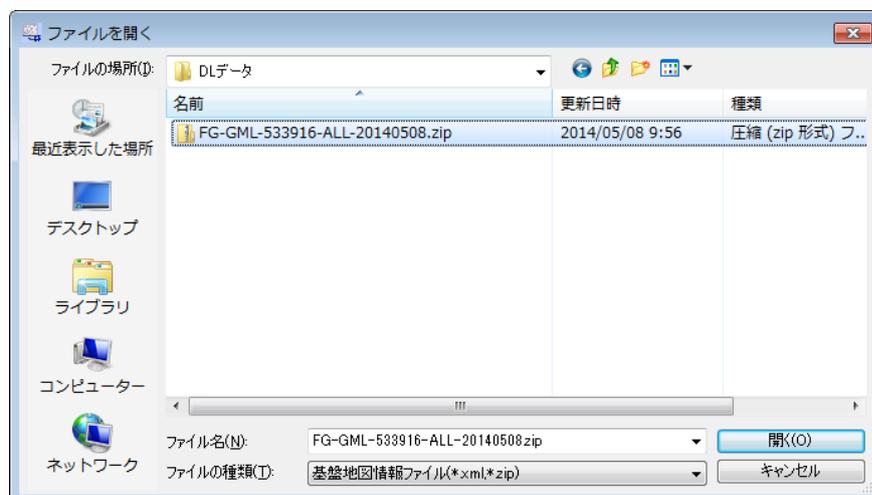
1. [ファイル]-[新規プロジェクト作成]を選択すると、[新規プロジェクト作成]ダイアログボックスが表示されます。(また、地図ウィンドウでデータを何も開いていない状態でクリックした場合も、ダイアログボックスが表示されます。)

[ファイル]-[新規プロジェクト作成]=

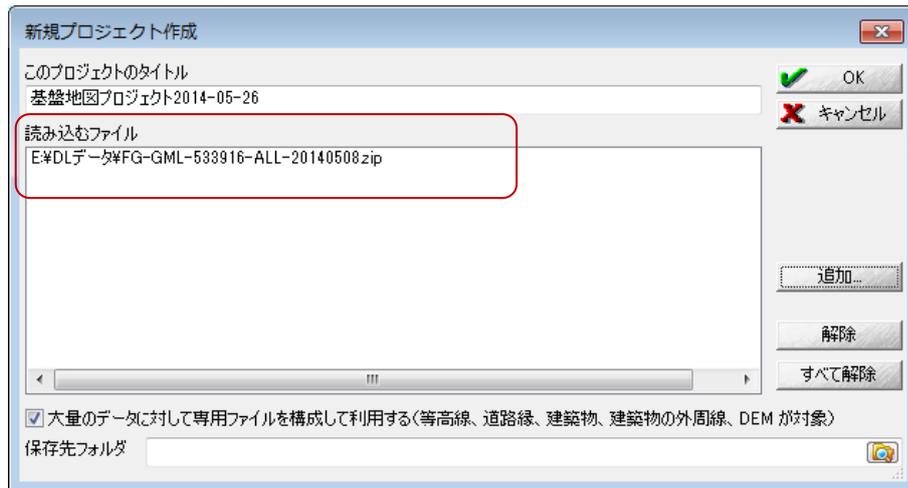


2. 【追加】ボタンを押すと[ファイルを開く]ダイアログボックスが表示されます。データの入っているフォルダを指定します。

ファイルを指定して【開く】ボタンを押します。Shiftキー又は、Ctrlキーを併用することで、複数のファイルを同時に指定することができます。



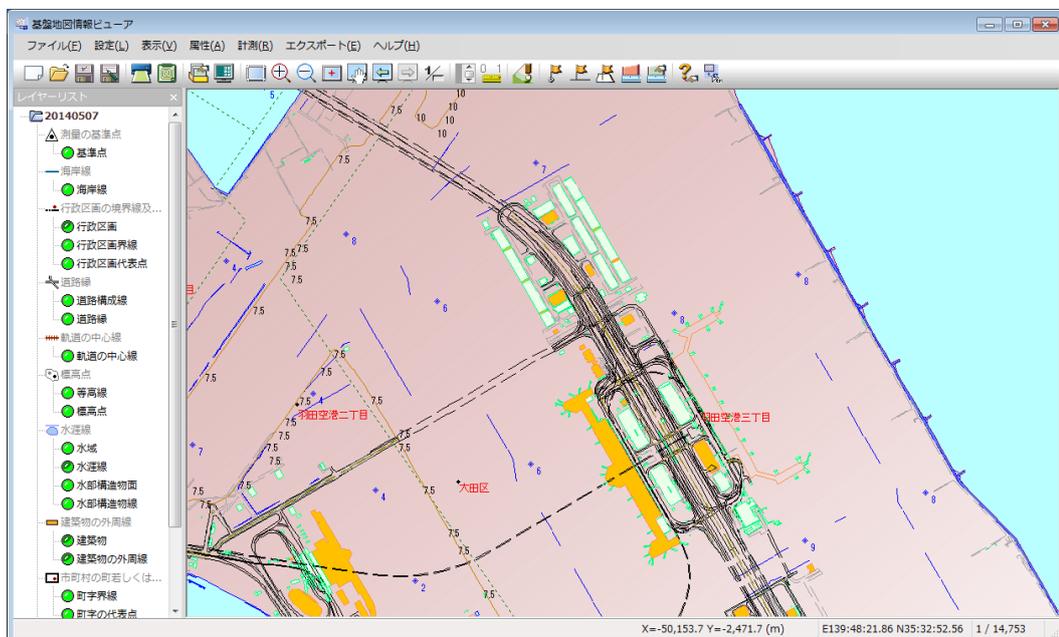
3. 選択したファイルが「読み込むファイル」一覧に表示されます。



必要に応じて「大量のデータに対して専用ファイルを構成して利用する」オプションにチェックを入れて、ファイル保存先のフォルダを指定します。

ファイル保存することで、メモリに入りきらないような大量のデータに対しても表示しやすくなります(処理時間は一般に増加します)。対象となる地物は、「等高線」「道路線」「建築物」「建築物の外周線」「DEM(標高データ)」です。

4. 【OK】 ボタンを押すと、右図のようにデータが読み込まれます。



[ファイル]-[名前を付けて保存]で、このアプリケーション独自の プロジェクト(拡張子: fgdv)として保存できます。

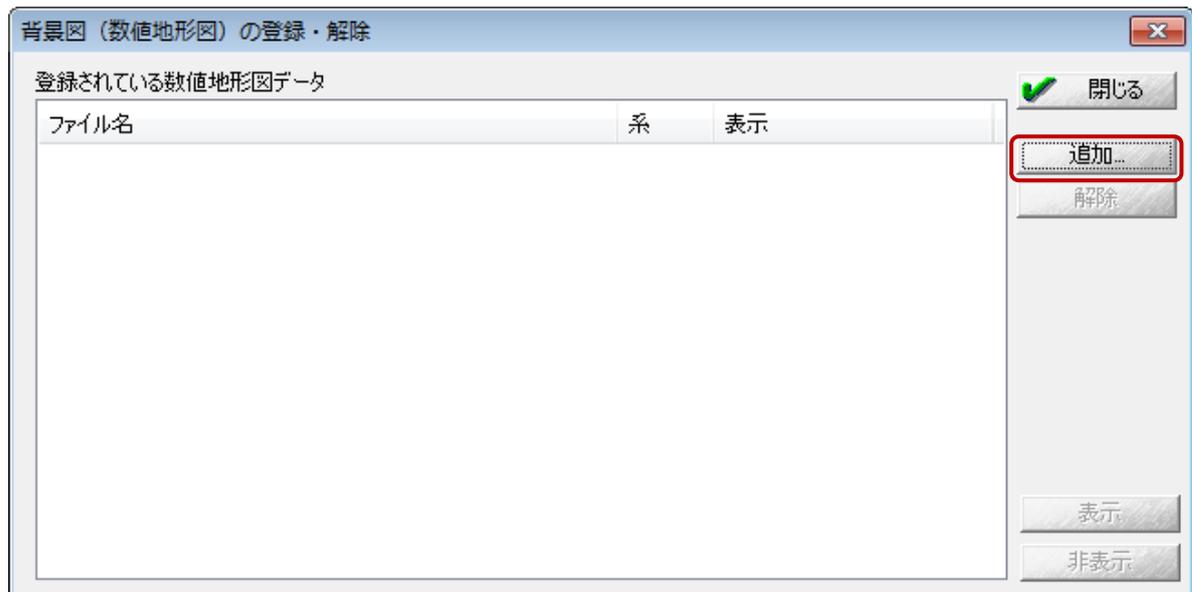
背景図（数値地形図）の登録

作成したプロジェクトに、背景図として数値地形図を登録することができます。

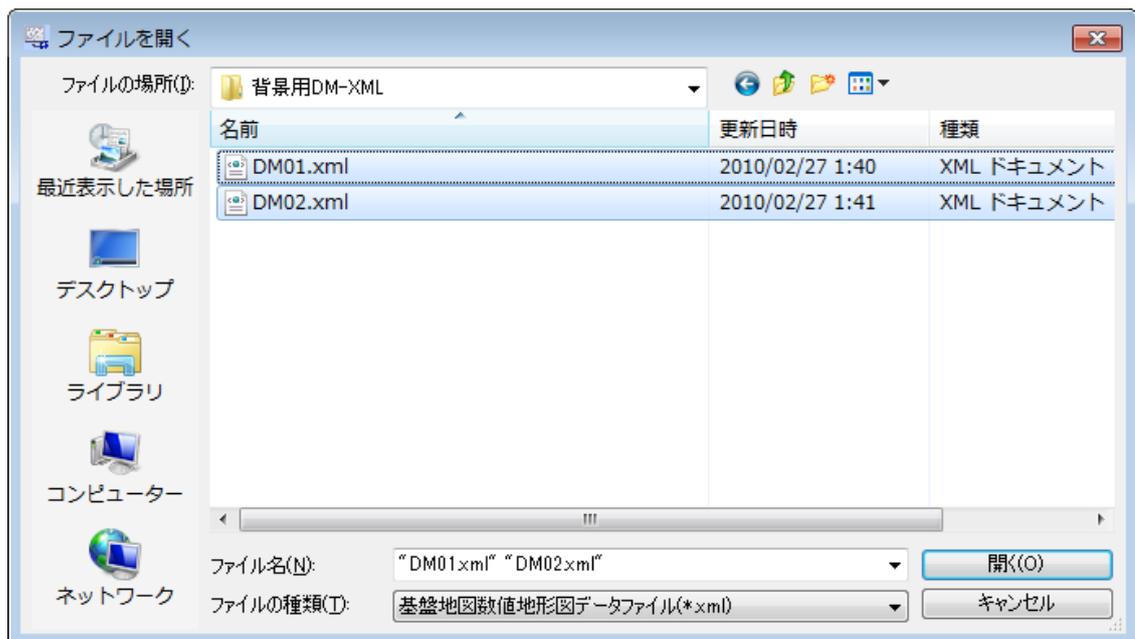
操作方法

1. プロジェクトファイルが表示されている状態で、[設定]-[背景図(数値地図)の登録・解除]を選択すると、[背景図(数値地形図)の登録・解除]ダイアログボックスが表示されます。

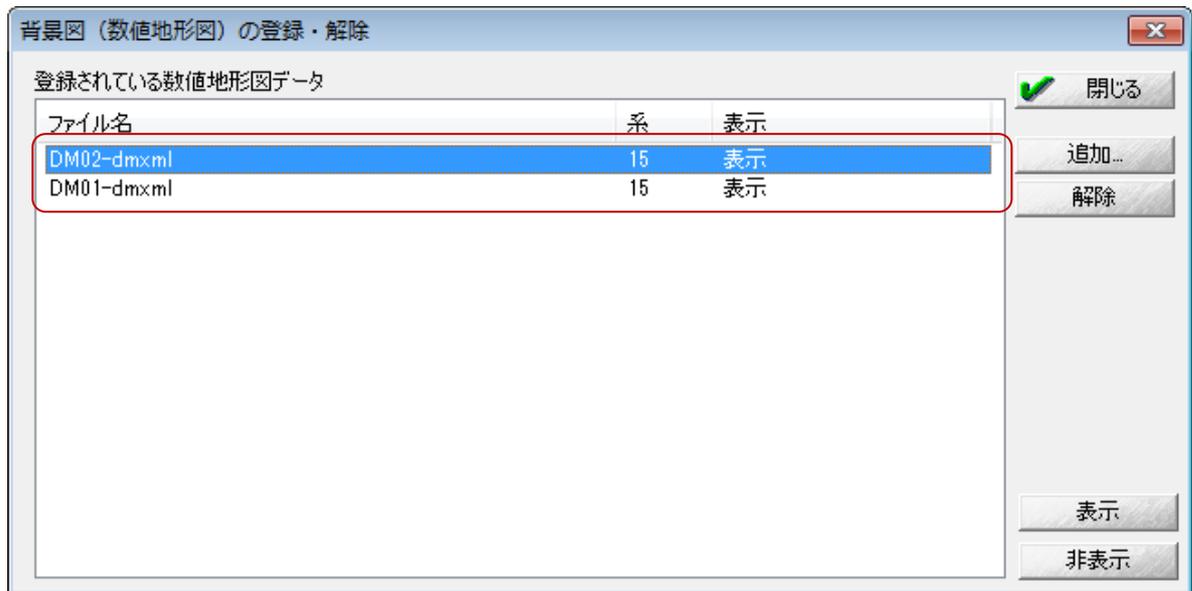
※プロジェクトは一度保存されている必要があります。



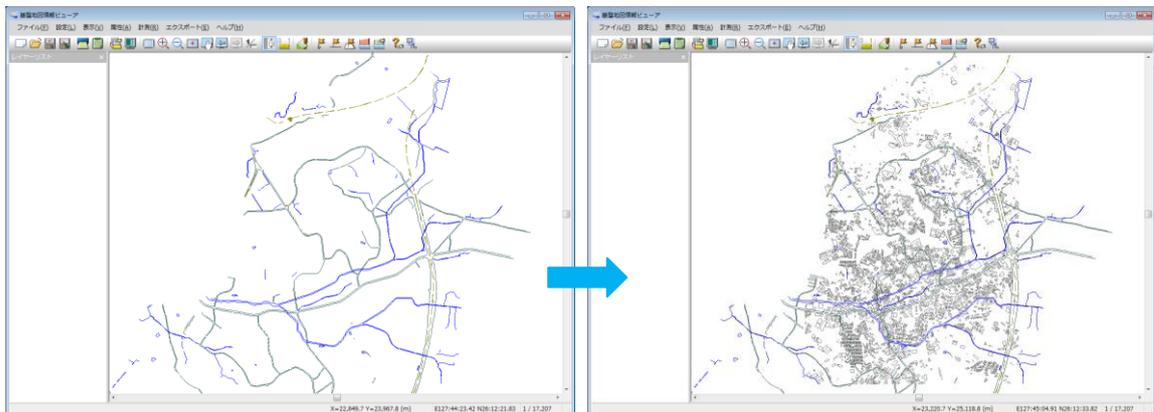
2. 【追加】 ボタンを押すと、[ファイルを開く]ダイアログボックスが表示されます。背景に登録する画像を選択して【開く】 ボタンを押します。



3. 読み込んだファイルが[背景図 (数値地形図) の登録・解除]ダイアログボックスに表示されます。リストを選択して、【解除】ボタンを押すと、選択したリストを解除します。また選択した状態で、【表示】【非表示】ボタンを押すと、背景図の表示状態を変更できます。



4. 【閉じる】ボタンを押すと、処理を反映します。



表示設定の変更

[設定]-[表示設定]メニューを利用して、項目ごとに表示状態を切り替えたり、描画色や文字のフォントを変更したりすることができます。

操作方法

1.[設定]-[表示設定]を選択すると、[表示設定]ダイアログボックスが表示されます。

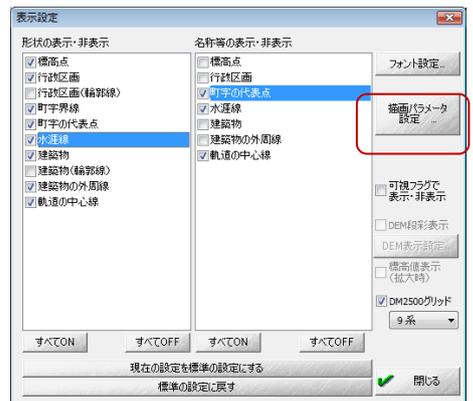
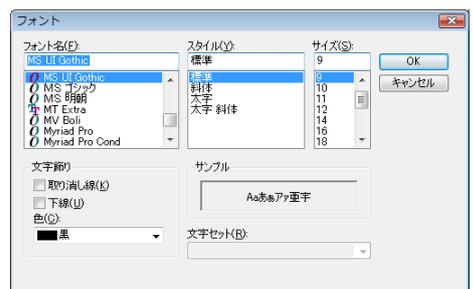
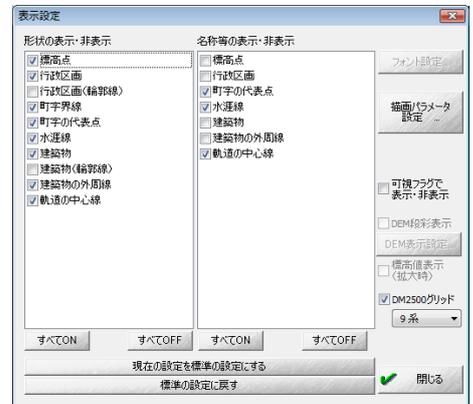
※[プロジェクトの設定]ダイアログボックスの【表示設定】ボタンからも[表示設定]ダイアログボックスが表示されます。

2.形状の表示切り替えは、左側のチェックボックスを、名称等の文字データの表示切り替えは右側のチェックボックスをON/OFFすることで変更できます。

3.文字のフォントやサイズ、色を変更するときは、右側の「名称等の表示・非表示」一覧からフォントを変更する項目を選択してから、【フォント設定】ボタンを押します。

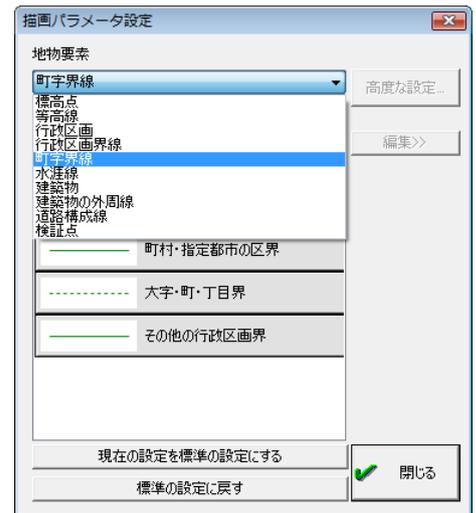
4.【フォント】ダイアログボックスが表示されます。
設定を行い【OK】ボタンを押してください。

5.形状の表示方法を変更するには、【描画パラメータ設定】ボタンを押します。



6. [描画パラメータ設定] ダイアログボックスが表示されます。「地物要素」プルダウンから、変更する要素を選択して、描画パラメータを変更することができます。設定が終わりましたら、【閉じる】ボタンでダイアログボックスを閉じてください。

※ [表示]-[凡例ウィンドウ (2500/25000)] で表示される [凡例ウィンドウ] の各項目をダブルクリックしても同様に変更できます。

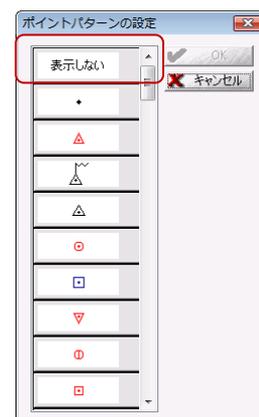


点要素の場合

パラメータを選択して【編集】ボタンを押すと、[ポイントパターンの設定] ダイアログボックスが表示されます。一覧から変更するシンボルを選択して、【OK】ボタンを押すと、変更されます。

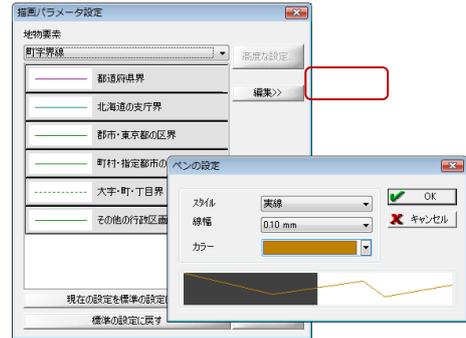


※ 「基準点」データの場合は、「表示しない」を選択することができます。



線要素の場合

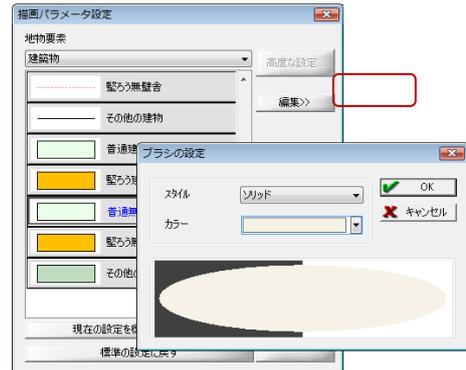
パラメータを選択して【編集】ボタンを押すと、[ペンの設定]ダイアログボックスが表示されます。線種や幅、色などを変更してから【OK】ボタンを押すと、変更されます。



面要素の場合

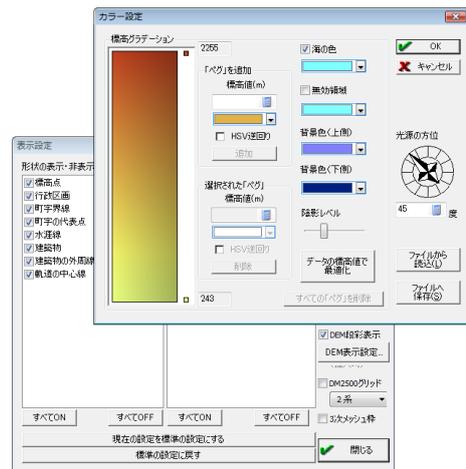
パラメータを選択して【編集】ボタンを押すと、[ブラシの設定]ダイアログボックスが表示されます。塗りのスタイル、色などを変更してから【OK】ボタンを押すと、変更されます。

【高度な設定】ボタンは、「行政区画」データの時のみ利用できます。詳しい使用方法はヘルプをご参照ください。

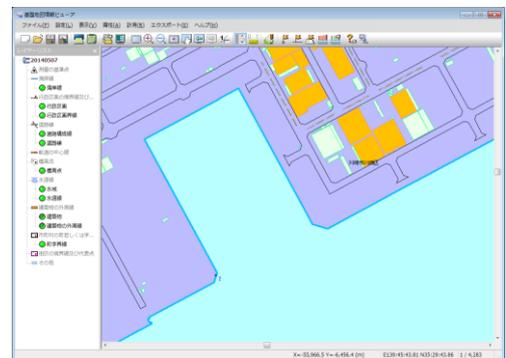


7.読み込んだデータにDEMが含まれている場合は、【DEM表示設定】ボタン、「DEM段彩表示」チェックボックスがアクティブになります。【DEM表示設定】ボタンを押すと[カラー設定]ダイアログボックスが表示され、標高グラデーションカラーの設定が行えます。

カラー設定方法については、ヘルプを参照してください。



8.[表示設定]ダイアログボックスを【閉じる】ボタンで閉じると、プロジェクトに変更が反映されます。



ステータスバー

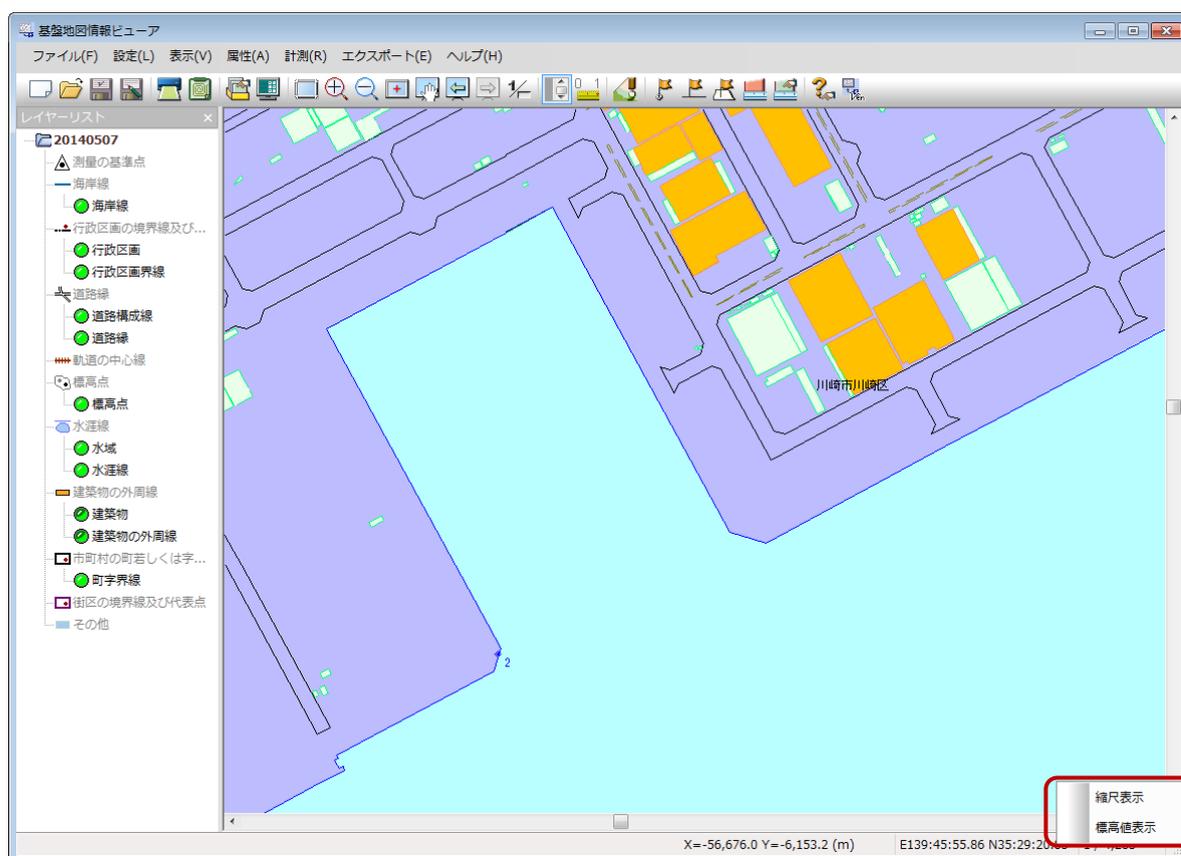
「ステータスバー」のペインの表示項目に「縮尺」か「標高値」を設定することができます。

操作方法

1.ステータスバーの右端にあるペインで右ボタンをクリックすると、ポップアップメニューが表示され、「縮尺表示」「標高値表示」を選ぶことができます。

DEMがある時、「標高値表示」を設定すると、マウス位置の標高が表示されます。

また、[表示]-[ステータスバー第3ペイン表示]からも選択することができます。



レイヤーリスト

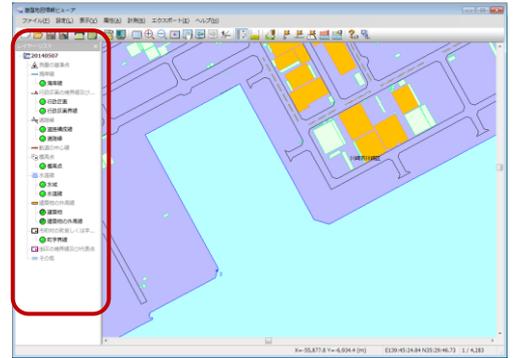
プロジェクトに登録されている地物は、「レイヤーリスト」に表示されます。

レイヤーリストでは、読み込まれているレイヤーの表示状態を確認でき、レイヤーの表示状態を切り替えることができます。

レイヤーリストが表示されている時は、[表示]-[レイヤーリスト]メニュー横のチェックが付きます。レイヤーリストが表示されている状態でコマンドを選択すると、レイヤーリストを非表示にします。

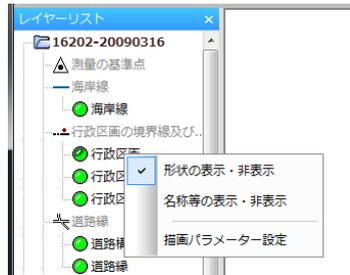
操作方法

- 1.[表示]-[レイヤーリスト]メニューを選択すると画面左端にレイヤーリストが表示されます。
- 2.レイヤー名をクリックすると、レイヤーの表示/非表示を切り替えることができます。



レイヤー名の前に表示されるアイコンで表示状態が確認できます。

- | | |
|---------------|------------------|
| 行政区画の境界線及び代表点 | 「形状」「属性」のどちらかが表示 |
| ● 行政区画 | 「形状」「属性」のどちらも表示 |
| ● 行政区画境界線 | レイヤーが非表示 |
| ● 行政区画代表点 | |



表示・非表示は名称を右クリックしてチェックのON/OFFで確定します。

表示メニューの実行

全体表示方法

- 1.[表示]-[全体表示]を選択すると、データ全域が表示されます。



拡大、縮小を行います。

拡大操作方法

- 1.[表示]-[拡大]を選択すると、ズームインアイコンが表示されます。



マウスの中ボタン、もしくは、Ctrlキーを押しながらマウスの左ボタンでも拡大モードになります。

中央任意拡大モード

指定した一点を中心として適当に拡大します。

- ① 拡大したい中心位置にカーソルを動かします。
- ② マウスの左ボタンをクリックします。この時点で指定した点を中心として適当な範囲が拡大されます。

範囲指定モード

拡大する範囲をユーザーが指定して実行します。

- ① 拡大したい範囲の四隅点位置にカーソルを動かします。
- ② マウスの左ボタンを押すと拡大フレームが表示されますので、ボタンを押したままマウスを動かし(ドラッグ)ます。この時、どの方向にも動かすことができます。
- ③ 拡大したい領域が決まったら、マウスの左ボタンを離します。この時点で指定範囲の領域を拡大表示します。

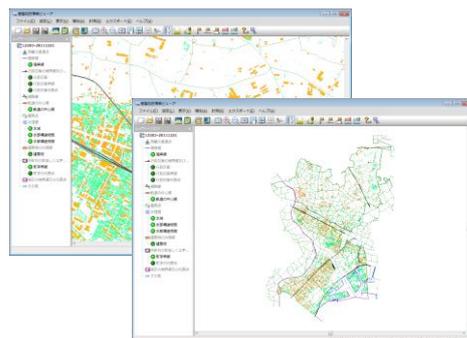
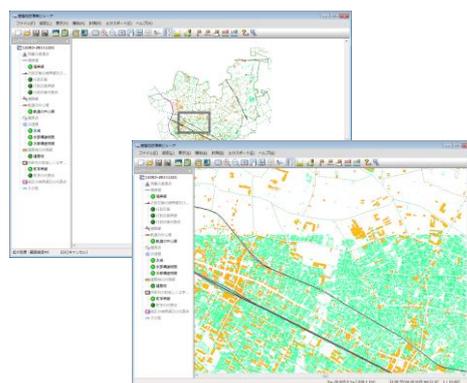
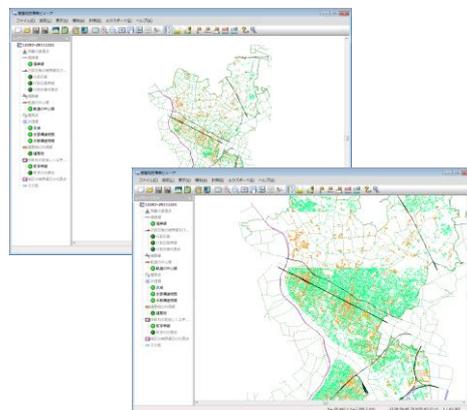
縮小操作方法

- 1.[表示]-[縮小]を選択すると、ズームアウトアイコンが表示されます。



Ctrlキーを押しながらマウスの右ボタンでも縮小モードになります。

- 2.縮小したい中心位置にカーソル移動し、マウスの左ボタンを押します。押した位置を中心に適当な範囲に縮小されます。



要素の属性を見る

「属性表示」機能で、図上の要素の情報を見ることができます。

操作方法

- 1.[属性]-[点属性表示]、[線属性表示]、[面属性表示]を実行します。

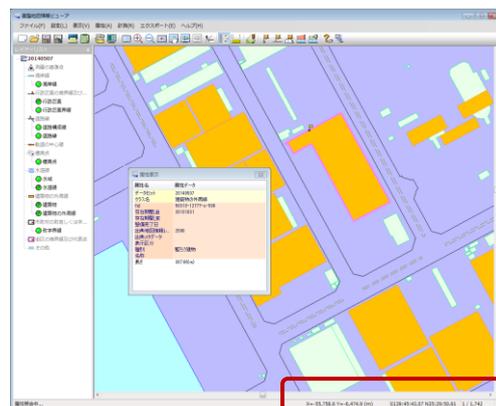
(=、、ボタン)

- 2.属性表示ウィンドウが表示されますので、照会する点・線・面をクリックします。

面属性の場合、指定された位置にあるすべての面の情報を表示します。

また、ステータスバーには常にマウス位置のX Y 座標が表示されています(右図赤枠部分)。

属性表示ウィンドウのシステムメニュー[クリップボードへコピー] (タイトルバー位置でマウス右クリック) を実行すると属性情報をクリップボードにコピーします。



距離と面積

図上で距離と面積を求めます。

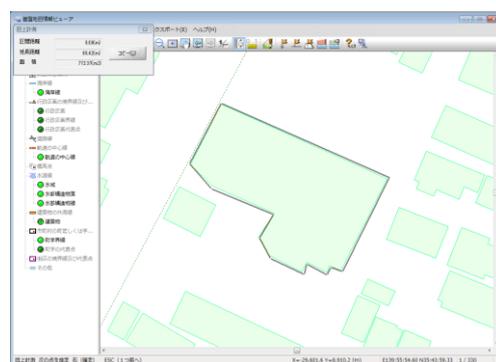
操作方法

- 1.[計測]-[距離と面積]を実行します。

(=ボタン)

- 2.[図上計測]ダイアログボックスが表示され、マウスが十字カーソルになり、図上計測モードに入ったことが分かります。
- 3.計測地点を順にクリックしていくと、計測ラバーバンドが表示され該当領域の情報が[図上計測]ダイアログボックスにリアルタイムで表示されます。
- 4.計測を終了する場所でマウスの右ボタンを押します。Escキーを押すと折れ点ごとに、計測をキャンセルできます。
- 5.このコマンドモード自体を終了する場合は、もう一度マウスの右ボタンを押してください。

[図上計測]ダイアログボックスの【コピー】ボタンを押すと、計測値がクリップボードにコピーされます。テキストエディタ等に貼り付けて、結果を利用することも可能です。



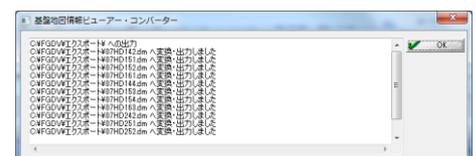
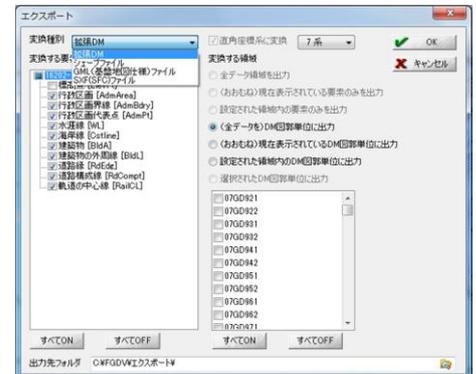
エクスポート

読み込んだ基盤地図情報を変換してファイル保存します。

[拡張DM]、[シェープファイル]、[GML(基盤地図仕様)ファイル]、[SXF(SFC)ファイル]に変換可能です。

操作方法

1. [エクスポート]-[エクスポート]を実行します。
2. [エクスポート]ダイアログボックスが表示されます。
3. 変換種別を確定します。
4. 変換する要素のチェックをONに設定します。
5. 「出力先フォルダ」を設定します。
6. 直角座標系に変換する場合は、「直角座標系に変換して出力」チェックボックスをONに設定し、系の選択も忘れずに行ってください。
7. 「(おおむね)現在表示されている要素のみを出力」チェックボックスをONにすると、画面上に表示されている範囲の要素を出力します。他の領域についてはヘルプをご確認ください。
8. 変換ファイルは、あらかじめ画面上でDM図郭や、領域を選択することにより、選択された領域のみを出力することができます。
[エクスポート]-[DM図郭領域選択]、[矩形領域選択]、[任意(ポリゴン)領域選択]
9. 【OK】 ボタンを押すと、処理を開始します。変換結果を右のようなダイアログボックスで通知します。変換の対応コード等についてはヘルプをご覧ください。



変換後の一例



標高メッシュをシェープファイルへ出力

標高メッシュが読み込まれている場合、シェープファイルデータに変換します。

操作方法

1. [エクスポート]-[標高メッシュをシェープファイルへ出力]を実行します。

2. [標高メッシュデータのシェープファイルデータへの変換]ダイアログボックスが表示されます。

3. 変換方法の詳細設定を行います。

4. 「出力先ファイル」を設定します。

5. 直角座標系に変換する場合は、「直角座標系に変換して出力」チェックボックスをONに設定し、系の選択も忘れずに行ってください。

6. 「(おおむね) 現在表示されている要素のみを出力」チェックボックスをONにすると、現在画面上に表示されている範囲の領域が「変換する領域」の対象となります。

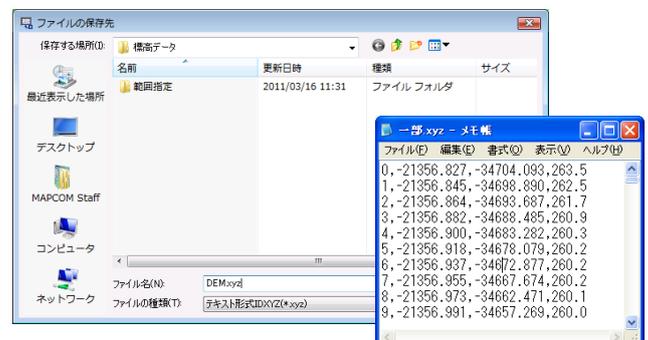
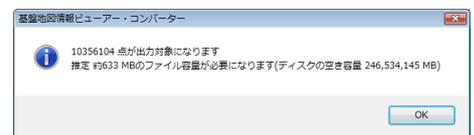
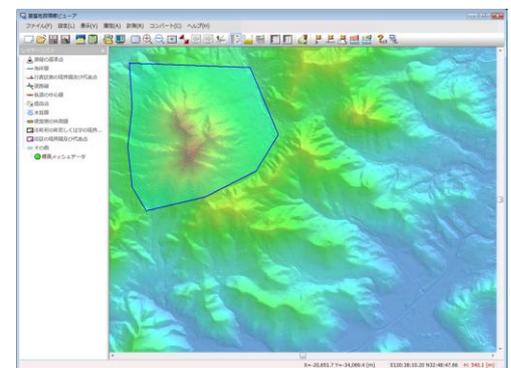
7. あらかじめ画面上で領域を選択することにより、選択された領域のみを出力することができます。

[エクスポート]- [矩形領域選択]、[任意 (ポリゴン) 領域選択]

8. 【出力サイズ確認】 ボタンを押すと実行した場合の必要容量を表示します。

9. 【OK】 ボタンを押すと、処理を開始します。変換結果は、シェープファイルを表示できるソフトで確認して下さい。

※ 「出力先ファイル」は、拡張子(.xyz)も指定でき
その場合は、カンマ区切りのテキストファイルとなります。(ID, X, Y, Z の並び)



プロジェクトの保存

プロジェクトをファイルに保存して、次回以降も利用できます。

操作方法

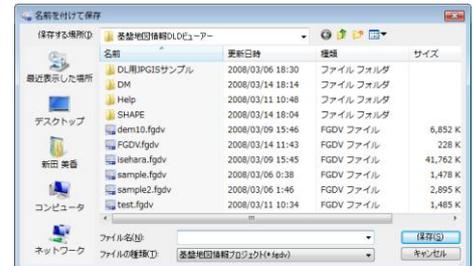
1. [ファイル]-[名前を付けて保存]を実行します。

(=  ボタン)

2. [名前を付けて保存]ダイアログボックスが表示されます。

3. ファイル名の指定を行い、【保存】ボタンを押すと基盤地図情報プロジェクト(*.fgdv)として保存されます。

一度名前を付けて保存したプロジェクトは[ファイル]-[上書き保存]で上書き保存ができます。



このプログラムの情報

バージョン情報などが表示されます。

操作方法

1. [ヘルプ]-[バージョン情報]を実行します。

2. [バージョン情報]ダイアログボックスが表示されます。

3. 情報を確認したら【OK】ボタンを押してダイアログボックスを閉じます。

